「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成２９年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評　価
29-5	交通事故リスクマネジメント手法の研究開発	愛媛大学 教授　吉井　稔雄	B

＜研究の概要＞

ネットワーク有効活用による安全性向上を目的とし、道路通行時における事故の起こしやすさ（以下「交通事故リスク」）を定量的に評価算定する方法を確立した後、同交通事故リスク情報を活用する交通マネジメント手法を提案・実施して、その有効性を示す。

＜中間評価結果＞

道路情報板を用いた交通事故リスク情報提供実験のほか、生活道路における事故リスク評価、交通事故リスク認知バイアスに関する道路利用者とのコミュニケーション実験等を実施しており、研究成果を得ている。しかし、交通事故リスクマネジメントの方法や生活道路における事故リスク評価について幾つかの指摘がみられることから、指摘事項に留意しながら現行のとおり推進することが妥当であると評価する。

＜今後の研究計画・方法への指摘事項＞

1. 「交通事故リスクマネジメント」の姿形を、情報提供方法や実務への適用方法も含めて、しっかりと整理すること。その際、既存の方策との差異を明確にしつつ、交通事故リスクマネジメントの有効性や効果を明確にすること。
2. 生活道路の事故リスク評価にあたっては、ETC2.0 データの限界を踏まえた手法となるよう配慮すると共に、メッシュ単位ではなく、ポリゴン（街区）を分析対象にすることも検討すること。
3. 国際ジャーナルでの成果公表を検討すること。

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 39 回新道路技術会議において審議したものである。